



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関本 彰大
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 TEL 03 (5275) 9011
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,365	△5.0	248	△45.8	259	△36.3	142	△43.5
25年3月期第3四半期	8,804	△1.1	458	△4.2	407	△0.7	252	△49.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 147百万円 (△64.0%) 25年3月期第3四半期 410百万円 (△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	4.17	—
25年3月期第3四半期	7.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	13,161	8,344	62.9	242.13
25年3月期	12,944	8,127	62.3	235.71

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,277百万円 25年3月期 8,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.80	0.80
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	0.40 ～1.00	0.40 ～1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400 ～10,600	—	△50 ～50	—	△100 ～30	—	△2.92 ～0.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 6「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	37,371,500株	25年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,185,366株	25年3月期	3,180,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	34,188,926株	25年3月期3Q	34,982,062株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における主な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

前連結会計年度において持分法適用の関連会社でありました㈱メディカルトリビューンは、平成25年2月において、株式の一部を譲渡し、関連会社ではなくなりました。同影響により、第1四半期連結累計期間より、医療セグメントは当社の連結範囲から除外されております。

事業セグメント区分	事業区分	事業内容	主要な会社	
IT (IT分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱インプレスR&D ㈱インプレスビジネスメディア ㈱インプレスジャパン ㈱Impress Watch 英普麗斯(北京) 科技有限公司
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	
	サービス事業	販促物等の受託制作及びその周辺サービス		
音楽 (音楽分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等	
デザイン (デザイン分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のメディア及びサービス事業)	メディア事業	ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱ICE ㈱デジタルディレクターズ
	サービス事業		電子書籍の企画制作、モバイル端末向けサービスの企画・開発・運営等	
その他			出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&D	㈱近代科学社 Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 出版営業支援及び物流・販売管理等	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱インプレスコミュニケーションズ

(当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント利益は、経常利益をベースとしております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、電子書籍の市場拡大を背景に電子書籍等のデジタルコンテンツ販売が順調に拡大し、IT分野のターゲットメディア事業が堅調な推移となりましたが、IT分野のデジタル広告、出版事業における雑誌及び書籍の販売の減少により、減収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期（8,804百万円）比5.0%減の8,365百万円となりました。また、コスト削減に努めたものの減収を補えず、経常利益は前年同期（407百万円）比36.3%減の259百万円となりました。また、当第3四半期連結累計期間における特別利益及び特別損失の発生は限定的となり、四半期純利益は前年同期（252百万円）から109百万円減少し、142百万円の四半期純利益となっております。

①IT

■メディア事業

デジタルメディアにつきましては、電子書籍市場の拡大により、電子書籍等のコンテンツ販売は好調に推移いたしました。主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等の広告収入が減少し、減収となりました。

出版メディアにつきましては、デジタルカメラ関連の出版物の販売が堅調に推移したほか、Windows8.1やiPhone5S/Cの発売に伴う関連書籍の販売が増加いたしました。雑誌事業の減収に加え、書籍の刊行タイトル数の減少等が影響し、減収となりました。

ターゲットメディアにつきましては、登録顧客向けのメディア事業が主な事業であり、広告収入や手数料収入が収益の中心となっております。同事業につきましては、登録顧客向けのターゲット広告等の関連サービスが堅調に推移し、増収となりました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、ターゲットメディアが堅調に推移したものの、デジタルメディア及び出版メディアの減収により、前年同期（3,369百万円）比4.7%減の3,209百万円となりました。

■サービス事業

サービス事業は、販促物等の受託制作及びセミナー等のサービスが中心となっております。

サービス事業につきましては、ターゲットメディアと連携したセミナーのイベント収入は堅調に推移したものの、販促物の受託制作等の減少が影響し、減収となりました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、前年同期（719百万円）比6.0%減の676百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、デジタルコンテンツ販売及びターゲットメディア事業が堅調な推移となったものの、デジタル広告及び出版メディアの減収等により、前年同期（4,089百万円）比5.0%減の3,885百万円となりました。セグメント利益では、減収をコスト削減で補えず、前年同期（271百万円）と比べ10.5%減の242百万円の利益となりました。

②音楽

■メディア事業

音楽セグメントにつきましては、月刊誌「サウンド&レコーディング・マガジン」のデジタル（iPad）版がApple社の「App Store Best of 2013」に選出されるなど、デジタルコンテンツの販売が拡大したことに加えて、楽器購入者向けの購買支援サイト「楽器探そう！デジマート」の広告収入も好調な推移となり、デジタルメディアの売上は増収となりました。一方、出版メディアにつきましては、雑誌事業の減収に加え、書籍の出荷規模が減少となり、全体としては出版メディアの減少をデジタルメディアの増収で補えず、減収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、出版メディアの減収により、前年同期（1,751百万円）比9.0%減の1,594百万円となりました。セグメント利益では、減収をコスト削減で補えず、前年同期（51百万円）と比べ96.1%減の2百万円の利益となりました。

③デザイン

■メディア事業

デザインセグメントにつきましては、電子書籍等のデジタルコンテンツの売上が好調に推移し、また刊行が順調な書籍売上は好調に推移いたしましたが、雑誌販売の減少と年賀状ムックの刊行タイトル数の調整による出荷の減少が影響し、減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（598百万円）比5.4%減の565百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下により、前年同期（38百万円）と比べ52百万円利益が減少し、14百万円の損失となりました。

④山岳・自然

■メディア事業

山岳・自然セグメントにつきましては、電子書籍等のデジタルコンテンツ及び登山情報サイト「YAMAKEI online」の広告収入等でデジタルメディアは堅調な推移となり、出版メディアにおいても広告及び既刊書籍は堅調な推移となりましたが、書籍の刊行の遅れ等による売上の減少に加え、大型の季節商品であるカレンダーの出荷規模の調整が影響し、減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（1,663百万円）比2.6%減の1,619百万円となりました。セグメント利益では、減収の影響により、前年同期（392百万円）と比べ20.3%減の312百万円の利益となりました。

⑤モバイルサービス

モバイルサービスセグメントは、モバイル端末向けのコンテンツ制作、配信ソリューション及び関連サービスの提供が中心となっております。当第3四半期連結累計期間につきましては、フィーチャーフォン向けサービス市場の縮小による運営及び制作受託収入の減少を、新たな成長領域であるスマートフォン向けのコミック関連サービス及び制作委受託等の新規事業の増収で補いましたが、一部事業のITセグメントへの移管が影響し、減収となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（551百万円）比7.9%減の507百万円となりました。セグメント利益では、事業構造の変化に伴う収益性の低下が影響し、前年同期（63百万円）と比べ68.3%減の20百万円の利益となりました。

⑥その他

その他セグメントにつきましては、電子書籍レーベル「impress QuickBooks」等の新規事業の売上の拡大により、売上高は前年同期（103百万円）に比べ21.0%増の125百万円となりました。セグメント利益では、事業開発に伴う費用の増加はあったものの、増収により、前年同期（19百万円の損失）から3百万円損失が減少し、16百万円の損失となりました。

⑦全社

全社セグメントは、グループの戦略策定及び経営管理等の機能を担う当社と、物流・販売管理機能を担う㈱インプレスコミュニケーションズが区分されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分につきましては、売上高は、パートナー出版社による電子出版の販売収入は増加いたしましたが、グループ会社からの配当収入が減少したことなどにより、前年同期（1,230百万円）比14.7%減の1,049百万円となりました。また、全社セグメントの利益は、前年同期（51百万円）から114百万円利益が減少し、63百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節変動要因により売上債権が203百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し、13,161百万円となりました。負債につきましては、有利子負債の返済により63百万円減少したものの、季節変動要因により返品調整引当金61百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と同水準の4,816百万円となりました。純資産につきましては、四半期純利益142百万円の計上に加え、連結範囲の変更により利益剰余金が96百万円増加したこと等により、216百万円増加し8,344百万円となりました。

純資産から新株予約権及び少数株主持分を引いた自己資本は8,277百万円となり、自己資本比率は62.9%と前連結会計年度末(62.3%)と同水準となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績の進捗状況につきましては、電子書籍等の販売が好調に推移しているものの、IT分野のデジタル広告、書籍の販売、受託制作事業の売上が予想に比べて弱含みな推移となっております。

なお、第4四半期連結会計期間につきましては、年度末に向けた広告、受託制作の受注状況及び大型の季節商品であるカレンダー等の仕上りの動向も大きな変動要因となり、不確定要素が大きいことから、現時点では現在公表している業績予測を据え置きます。なお、当第3四半期連結累計期間までのトレンドが継続し、業績予測との乖離が大きいことが明らかになった場合は、速やかに業績予想の修正を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,140,528	3,865,444
受取手形及び売掛金	3,974,490	4,174,758
電子記録債権	—	3,645
有価証券	1,194,854	1,400,463
商品及び製品	1,040,164	1,037,992
仕掛品	98,125	81,457
繰延税金資産	88,164	85,149
その他	143,545	153,351
返品債権特別勘定	△28,500	△25,300
貸倒引当金	△11,661	△19,566
流動資産合計	10,639,711	10,757,397
固定資産		
有形固定資産	146,437	178,506
無形固定資産		
ソフトウェア	153,244	158,744
その他	14,547	14,154
無形固定資産合計	167,792	172,898
投資その他の資産		
投資有価証券	1,612,525	1,660,352
繰延税金資産	54,511	41,485
その他	575,542	373,336
貸倒引当金	△251,723	△22,723
投資その他の資産合計	1,990,856	2,052,451
固定資産合計	2,305,086	2,403,856
資産合計	12,944,797	13,161,254

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,413,713	1,384,253
短期借入金	675,100	800,000
1年内償還予定の社債	40,000	64,000
1年内返済予定の長期借入金	439,336	318,765
未払法人税等	49,200	93,972
賞与引当金	132,361	45,187
返品調整引当金	202,705	264,314
その他	728,623	775,392
流動負債合計	3,681,039	3,745,885
固定負債		
社債	—	136,000
長期借入金	360,628	133,297
繰延税金負債	95,189	70,962
退職給付引当金	678,580	729,023
その他	1,425	1,425
固定負債合計	1,135,823	1,070,708
負債合計	4,816,862	4,816,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	2,199,308	2,199,308
利益剰余金	960,282	1,172,396
自己株式	△619,206	△619,825
株主資本合計	7,881,405	8,092,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172,142	143,408
為替換算調整勘定	5,578	41,333
その他の包括利益累計額合計	177,721	184,741
新株予約権	16,840	16,840
少数株主持分	51,967	50,178
純資産合計	8,127,934	8,344,660
負債純資産合計	12,944,797	13,161,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,804,787	8,365,015
売上原価	5,305,917	5,190,327
売上総利益	3,498,869	3,174,688
返品調整引当金繰入額	75,614	58,408
差引売上総利益	3,423,255	3,116,279
販売費及び一般管理費	2,964,674	2,867,826
営業利益	458,580	248,452
営業外収益		
受取利息	14,709	11,990
受取配当金	7,247	1,145
為替差益	5,266	11,748
その他	9,516	6,213
営業外収益合計	36,740	31,099
営業外費用		
支払利息	15,000	12,690
持分法による投資損失	70,903	—
その他	2,407	7,467
営業外費用合計	88,310	20,157
経常利益	407,009	259,394
特別利益		
投資有価証券売却益	237,608	2,102
新株予約権戻入益	11,646	1,625
特別利益合計	249,255	3,727
特別損失		
固定資産除却損	4,152	656
固定資産売却損	7,886	43
減損損失	—	8,412
投資有価証券評価損	16,471	—
貸倒引当金繰入額	221,000	—
その他	700	—
特別損失合計	250,211	9,112
税金等調整前四半期純利益	406,054	254,008
法人税等	147,830	113,287
少数株主損益調整前四半期純利益	258,223	140,721
少数株主利益又は少数株主損失(△)	6,004	△1,789
四半期純利益	252,219	142,510

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	258,223	140,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	153,131	△28,734
為替換算調整勘定	△1,034	35,754
持分法適用会社に対する持分相当額	20	—
その他の包括利益合計	152,117	7,020
四半期包括利益	410,341	147,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,336	149,530
少数株主に係る四半期包括利益	6,004	△1,789

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	医療	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	4,089,104	1,751,869	598,117	—	1,663,124	551,140	8,653,356	103,880	47,550	8,804,787
セグメント利益又は セグメント損失	271,080	51,067	38,573	(70,903)	392,319	63,260	745,397	(19,389)	(318,998)	407,009

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&Dが含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△318,998千円には、事業セグメント以外の売上高99,153千円、セグメント間取引消去△51,603千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△381,883千円、その他調整額15,333千円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計				
売上高	3,885,833	1,594,823	565,562	1,619,124	507,638	8,172,983	125,743	66,288	8,365,015	
セグメント利益又は セグメント損失	242,672	2,009	(14,052)	312,580	20,028	563,238	(16,059)	(287,785)	259,394	

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&Dが含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△287,785千円には、事業セグメント以外の売上高110,079千円、セグメント間取引消去△43,790千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△366,587千円、その他調整額12,513千円が含まれております。

4. 医療セグメントは、㈱メディカルトリビューンの株式の一部を譲渡し、関連会社でなくなったため、報告セグメントから除外されております。